

静岡芸術劇場

開館二十周年記念式典を開催

宮城聰のフランス芸術文化勲章シュヴァリエ叙勲式を同時開催

早春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、SPAC-静岡県舞台芸術センターの活動拠点である「静岡芸術劇場」は、2019年に開館20周年を迎えます。静岡県の先進的な文化政策によりSPACは1999年から静岡芸術劇場を専用劇場とし、世界に通用する舞台芸術作品を創造・発表するとともに、「中高生舞台芸術鑑賞事業」をはじめとする人材育成事業の場としても幅広く質の高い事業を展開して参りました。開館20周年を迎えるにあたり、SPACの活動をより多くの県民の皆様にご覧いただくため、「静岡芸術劇場 開館二十周年記念式典」を開催いたします。

またこの度、SPAC 芸術総監督の宮城聰が、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章することになりました。芸術文化勲章はフランス共和国文化省より与えられる勲章で、式典の中であわせて駐日フランス大使による叙勲式を執り行います。

ぜひご取材等ご検討頂きたく、ご案内申し上げます。

静岡芸術劇場 開館二十周年記念式典

日時：2019年4月18日（木）13:30～14:30

場所：静岡芸術劇場

<式典内容>

- ・御挨拶（SPAC 理事長 鈴木壽美子）
- ・御祝辞
- ・活動紹介（SPAC 新作『マダム・ボルジア』のデモンストレーション 等）
- ・シュヴァリエ叙勲式（駐日フランス大使よりご挨拶・贈呈）

※閉会後に、ささやかですが懇談の場をご用意しております。（カフェシンデレラにて）



静岡芸術劇場

●静岡芸術劇場の歩み

1998年8月31日	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ完成
1999年1月16日	静岡芸術劇場お披露目公演 初代芸術総監督 鈴木忠志演出『カチカチ山』『ディオニュソス』を上演
1999年3月31日	グランシップ正式オープン
2009年12月11・13日	グランシップ開館10周年記念事業 鈴木忠志演出 オペラ『椿姫』を上演（グランシップ中ホール）
2007年	二代目芸術総監督宮城聰が就任、現在に至る。

●フランス芸術文化勲章について

1957年に創設され、フランス共和国文化省より与えられる勲章。日本におけるフランス文化の紹介者、普及の実務者、あるいは支援した人を叙勲の対象としている。シュヴァリエ Chevalier、オフィシエ Officier、コマンドゥール Commandeur の3つの等級があり、駐日フランス大使と協議し、在日フランス大使館文化部、在京都フランス総領事館、もしくはフランス本国で直接文化省が推薦し、フランス文化大臣により決定される。ここ10年間に約120人の日本人が芸術文化勲章を受勲している。（2018年12月現在）

「静岡芸術劇場開館二十周年記念式典」及び「フランス芸術文化勲章シュヴァリエ叙勲式」に関するお問い合わせ・取材のご希望は、SPAC 広報担当：内田・坂本までお願いいたします。

Tel：054-208-4008 / Fax：054-203-5732 / E-mail：uchida@spac.or.jp sakamoto@spac.or.jp